



1年学年だより

発行日：平成 31 年 2 月 28 日 (木)

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：磯部 修一 NO. 10

平成 30 年度の有終の美を求めて

今月は南高校附属中学校 8 期生適性検査、南高校 66 期生高校入試が実施されました。南高校および附属中学校にも新しい春の足音が聞こえてきます。平成 30 年度の附属中学校の生活も残りひと月となりました。今年度の総仕上げをしている各学年の様子をお伝えします。

保護者の皆さま、1 年間さまざまな場面でお力添えいただきありがとうございました。平成 30 年度も残りひと月、よろしく願いいたします。

ここからが本当の学びのスタート

3 年学年主任 蛭田 真生

先日、皆さんの提出した卒業論文を少し読ませていただきました。リニアモーターカーについて学ぶために名古屋の鉄道館や山梨の実験線に出かけたり、児童労働について学ぶために NGO のイベントに参加したり、一人ひとりが自分の決めた研究テーマと向き合い、真剣に研究に取り組んだことが伝わってきて、とても嬉しい気持ちになりました。研究の進め方や論文のまとめ方には、まだまだ拙いところもあります。しかし、自ら問題を見だし、課題を解決する方法を考え、問題解決にチャレンジしたこの経験は、今後の人生の様々な場面で活きるでしょう。

9 年間の義務教育を終えたここからが本当の学びのスタートです。小学校、中学校で育んだ自ら学びに向かう力を高校でさらに伸ばし、学ぶことの楽しさを伝えられる大人になっていってください。

5 期生のみんな、いよいよ中学校卒業ですね。これまで自分を支えてくれたすべての人への感謝の気持ち、そして新たな出会いへの期待を胸に、3 月 22 日、立派に卒業式を迎えよう！

LET'S GROW WITH FAMILY

2 年学年主任 梶ヶ谷 朋恵

今年の学年として最大の行事、イングリッシュキャンプを終えて、2 学年のフロアには、Let's grow with family の文字が入った横断幕が長いあいだ掲げられていました。1 年生の時から、「3 年生になる頃には素敵な家族のような集団になれたらいいね」と集会などの学年主任の話のときに、語っていたことと関係あるかどうかは不明ですが、2 年生のイングリッシュキャンプはこの言葉を合言葉に、大成功に終わることができました。家族という言葉には、個人個人さまざまなイメージがあると思いますが、私が思っている家族のような学年というのは、一朝一夕で出来上がるものではありません。時に優しく、時に厳しく、違いを受け入れ、互いを尊重し、個人個人の関わりの強さに違いがあっても、常に全体への思いを忘れない、あたたかな関係。

そんな学年を 3 年間かけて作ってほしいと願っています。そのためには、お互いをよく知るためにぶつかり合う場面も、近づきすぎたり離れすぎたりしながら、距離感を測る場面も必要です。6 期生の 2 年目を振り返って、皆さんはどんな 1 年だったと思いますか？来年も Let's grow with family!!

優しく、しなやかな心で

1 年学年主任 朝比奈 康江

7 期生が入学して一年、また新しい季節がめぐってきました。さまざまな小学校から集まり、仲間づくりからスタートした中学校生活でした。広い敷地、大きな校舎、恵まれた施設。行事や部活動などでは、中学生だけでなく高校生の先輩の活躍も身近で感じ、それまでとは違ったためまぐるしい日々だったと思います。

その中で、みなさんは、人の意見を素直に受け止め、互いの個性を認め合える優しい集団になりました。

相田みつをさんの詩に「木の芽がのびるのは やわらかいから 若葉がひろがるのは やわらかいから かな風にも竹がそよぐのは 竹がやわらかいから 『やわらかい心』とあります。優しさ、しなやかさは強さです。4 月に入学してくる 8 期生に、行動でそれを示せる先輩になってください。

これからも、やわらかい心でたくさんの方の心を吸収し、成長していってくれることを信じています。

構成的グループエンカウンター研修PART2



2月23日(土)高知大学の鹿嶋真弓先生をお迎えし、EGG体験の一環である「第2回 構成的グループエンカウンター研修」が行われました。

「みんなでリフレーミング」「二者択一」「グループの人から見たあなたの印象」などの活動を通して、価値観を広げ、自分の生き方を見直し、これからの課題を見つけていくという好機となりました。

「今の自分にチャプター(章)を付ける」では、「挑戦 前進 スタート 進化 試練 道草の時間 ポジティブ思考 個性を伸ばす 変化 自分探し 成長 経験 発見 憧れ 大人への階段」などが挙げられ、今の自分と素直な気持ちで向き合っているみなさんの真摯な姿を見ることができました。

鹿嶋先生から「7期生は良い意味でしっかりと自己主張ができますね。」というお言葉をいただきました。集団の中で自分を出せるというのは、他の人をありのままに受け入れられるという背景があつてのことだと思います。7期生のこれからの成長が楽しみです。

1組 今回の活動は、他の人について知る良い機会になりました。そして、僕もそうだけれど、意外とみんなのことを知れていないと思いました。この学習で、自分について知れたので、それを生かしてこれからがんばりたいです。



1組 クラスの人と知り合つて約一年が経ち、コミュニケーションも大分とつて、よく知っている人だと思つていても、意外と知らない面もあつておもしろかった。これからの学校生活で、相手がどう思うとか、いろいろなことを考えつゝ関わつていこうと思つた。今回の授業では、友達の話はもちろん、自分自身を見つめ直す良い機会になった。

2組 リフレーミングで、自分が今まで短所だと思つていたところを、グループのみんなが評価してくれて、自分に少し自信がついた。友達との共通点を見つける活動では、自分に似ている人もいれば、ほとんど合わない人もいて、友達の意外な面を知ることができた。「あなたの印象」では「自分つてこんな人なんだ!」と、自分を客観的に見たらどうなるかがわかつて、とても興味深かつた。



3組 今回、周りの人が自分のことをどう思つているのかが分かつた。意外と自分は気づいていなくても、周りの人が気づいていることがたくさんあつた。私もいろいろな人の良いところを見つけていきたい。

4組 一つのものごとに対する考えは一人ひとり違ふのだと改めて実感した。活動を通して、他の人の考えを知れてとても楽しかつた。赤ちゃんの動画は深く考えさせられるものだつた。今回の活動で学んだことを生かしていきたい。

4組 自分からは見えない立体の面を、他の人が見せてくれたような感じでした。意外だなあと感じる事が多くあり、人から教えてもらったことを大切にしていきたいと思つました。

百人一首大会 ～楽しく古典に親しもう～

「1学年だより」の1月号でも触れましたが、1年生の百人一首大会が1月29日（火）7校時に、柔道場で行われました。

日本の伝統文化や古典に親しむこと、学年みんなで楽しむことを目標に、国語の授業や学活の時間に練習してきました。百人一首は、上の句で見つけられる札が多くなればなるほど楽しくなります。一字決まりの札やみなさんが大好きな「ちはやふる」「うかりける」の札を取ることができましたか。学年で行う百人一首大会は3年生まで続きます。来年、再来年とさらに盛り上がっていくことを期待しています。

今回は、団体戦ならびに個人戦ベスト10の結果と、団体戦の賞状の文章をご紹介します。賞状を作成してくださったのは山形拓也先生ですが、まさに「言い得て妙なり」の名文です。

【クラス対抗戦結果】

ちらし取りを2回行い、各クラス総取得枚数の一人当たりの取得枚数で順位を決定します。

優勝：1組（47.6枚）

【個人戦ベスト10】

ちらし取りを2回行い、総取得枚数で順位を決定します。

賞状

百人一首の成立から約八百年
：あなた方は平成三十年度第一
学年百人一首大会において、優秀
な成績をおさめられました。
この一年間をかけて育んできた
クラスの団結力を、この伝統あ
る百人一首大会という大舞台で
見事發揮させたあなた方を見て、
平安時代の歌人たちもさぞ大喜
びでしょう。普段の国語の学習に
対する熱心な取り組みも今回の
成果に繋がっていることと思わ
れます。
一月の冷え切った柔道場の中、
熱戦を繰り広げ、見事優勝を手
にしたあなたたちクラスの努力と
栄誉を称え、ここにこれを賞しま
す。

順位	氏名	枚数	順位	氏名	枚数
1	■■■■ (1組)	146	6	■■■■ (3組)	112
2	■■■■ (4組)	130	7	■■■■ (2組)	111
3	■■■■ (1組)	128	8	■■■■ (2組)	103
4	■■■■ (4組)	116	9	■■■■ (2組)	97
5	■■■■ (1組)	113	10	■■■■ (4組)	95



EGG ゼミ発表会のお知らせ



2学期から取り組んできたEGGゼミもまとめの時期となりました。2月は活動時間も少なかったのですが、どのクラスも集中してポスターセッションの準備を進めていました。

保護者の皆さまにも、ぜひご参観いただき、総合的な学習の時間の成果をご覧いただきたくご案内いたします。

日時：3月9日（土）9：30～11：40

場所：中学1年生教室

※なお、当日は13時よりPTA主催のクラス懇親会が予定されています。

姫のひとりごと

毎年のことながら、2月はあっという間でした。校門からスロープを上がると、紅梅・白梅が花を咲かせ、良い香りを放っています。本格的な春はすぐそこです。

国語の授業で、クラス全体討論を行いました。みなさんの成長ぶりに驚かされました。間もなく、新たな出会いが待っていますね。